

带状疱疹ワクチン定期予防接種のお知らせ

①令和8年度に次の年齢となる大津市民 ※接種機会は今回限りです。

65歳	昭和36年4月2日から 昭和37年4月1日生まれ	85歳	昭和16年4月2日から 昭和17年4月1日生まれ
70歳	昭和31年4月2日から 昭和32年4月1日生まれ	90歳	昭和11年4月2日から 昭和12年4月1日生まれ
75歳	昭和26年4月2日から 昭和27年4月1日生まれ	95歳	昭和6年4月2日から 昭和7年4月1日生まれ
80歳	昭和21年4月2日から 昭和22年4月1日生まれ	100歳	大正15年4月2日から 昭和2年4月1日生まれ

②接種日に60歳から64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有し、
身体障害者手帳1級を持っている大津市民 ※接種前に保健予防課への申請が必要。

注：過去に带状疱疹ワクチンを接種した方は対象外。
ただし、医師に相談し予防接種を行う必要があると認められた場合は対象となります。

対象者

いずれかのワクチンを選択。※医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能。

	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種回数 (接種方法)	1回（皮下接種）	2回（筋肉内接種） ※2か月以上の間隔を置いて2回接種
接種費用	4,300円/回	10,900円/回
接種できない方	病気や治療で、免疫が低下している方	—
接種に注意が 必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、凝固療法を実施されている方は注意が必要。

注：「生活保護世帯に属する者」「中国残留邦人等支援給付世帯に属する者」に該当する方は、接種前の申請で接種費用が無料となります。

申請場所：保健予防課（予約不要）、各すこやか相談所（要予約）
郵送での申請をご希望の場合は、保健予防課までご連絡ください。

使用する
ワクチン
・
接種費用

接種期間 令和8年4月1日（水）から令和9年3月31日（水）

持ち物 予診票兼接種券、本人確認できるもの（マイナンバーカード、運転免許証等）

接種場所 登録医療機関（接種を希望する医療機関へ 直接予約）
大津市外の医療機関で接種する場合は接種前に保健予防課へ申請ください。

【お問合せ先】
接種全般：大津市コールセンター (077) 523-1234
申請関係：保健予防課 (077) 526-6306

带状疱疹ワクチンを受ける前に

1. 予診票兼接種券の記載について

予診票兼接種券は予防接種を受ける際に重要なものですので、接種を受ける方が責任を持って各項目に記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

2. 次のいずれかに該当する場合は、今回の予防接種は受けられません

- 明らかに熱のある場合（37.5℃以上）
- 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな場合
- その他・・・上記の（1）から（3）以外にも、医師が不適当と判断した場合

3. 予防接種を受けるに際し、担当医師と相談しなくてはならない方

- 心臓、腎臓、肝臓、血液等の病気で治療を受けている方
- 予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- けいれんを起こしたことがある方
- 免疫不全と診断されている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 带状疱疹ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

4. 予防接種を受けた後の一般的な注意事項

- 予防接種を受けた後、約30分間は安静にしましょう。急な副反応が起こることがあるので、医師（接種医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- 接種当日の入浴、シャワーは可能ですが、注射した部位を強くこするのはやめましょう。
- 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動は控えましょう。

5. 带状疱疹ワクチンの効果（厚生労働省提供資料より）

		生ワクチン	組換えワクチン
带状疱疹に対する ワクチンの効果	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

6. 副反応が起こった場合

予防接種を受けた後に以下のような副反応がみられることがあります。気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関にご相談ください。頻度は不明ですが、生ワクチンはアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンはショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン	組換えワクチン
70%以上	—	注射部位の疼痛
30%以上	注射部位の発赤	注射部位の発赤、筋肉痛、疲労
10%以上	注射部位のそう痒感・熱感・腫脹・疼痛・硬結	注射部位の腫れ 胃腸症状、悪寒、発熱
1%以上	発疹、倦怠感	痒み、倦怠感、全身疼痛

極めてまれではあるものの、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあり、その場合は、救済制度が設けられていますので、保健予防課までご連絡ください。

